

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

特集

津波防災工事によって姿を消す
西宮市の今津浜—大阪湾奥における変遷と現状

Volume 42

Number 2

December 2020



関西自然保護機構

Kansai Organization for Nature Conservation

表 紙 の 言 葉

夙川河口のハクセンシオマネキ

文・写真 渡部哲也

夙川河口に生息するスナガニ科カニ類、ハクセンシオマネキ。オスは写真のように片方のハサミ脚が巨大化し、繁殖期にはウェービングと呼ばれるダンスを踊る。ウェービングにはメスに向けた求愛と、他のオスに対する牽制の機能があると言われている。ハクセンシオマネキは河口部にできる砂泥干潟に巣穴を掘って生活するが、干潟の埋め立てなどによってその生息地が縮小している。

(2020 年 6 月撮影)

関西自然保護機構 (KONC : Kansai Organization for Nature Conservation)

KONC は自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978 年に創立されました。

KONC はその活動の成果と、会員個人々の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ (助言勧告機関) として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。